



オンライン

# 環境・エネルギー ビジネスセミナー

カーボンニュートラルやゼロカーボン北海道の実現など、道内を取り巻く状況が転換期を迎え環境・エネルギー産業が注目を集める中、再生可能エネルギーの豊富な北海道において、環境・エネルギー産業への新規参入や事業拡大をご検討される企業に向けて国内外の状況、参入事例についてご紹介します。また、ホテルや工場、事務所における省エネの取組事例や支援制度をご紹介します。

## 2022.2.25金

### 無料公開 8/31(水)終了



基調講演

60分



## ゼロカーボン構想が描く北海道のグリーン成長

2030年温室効果ガス46%削減、2050年カーボンニュートラルという気候変動対策の国家目標は日本の環境・エネルギー産業にとって何を意味するのか。高い目標設定がもたらす日本のグリーン成長、技術革新と産業の隆盛による北海道の活性化についてご講演いただきます。

東京工業大学特命教授・名誉教授  
先進エネルギーソリューション研究センター長

柏木 孝夫 氏

分科会 A

60分

新エネルギー新聞(株式会社新農林社)  
取締役事業部長兼管理部長

井上 英文 氏

### 「北海道における環境・エネルギー産業の可能性」 ～脱炭素社会の実現に向けたエネルギー産業動向～

再生可能エネルギー情報を網羅する専門紙の立場から、企業における新産業の創出や本道における環境・エネルギー産業の振興に向けたヒントをご講演いただきます。

分科会 B

60分

一般財団法人 省エネルギーセンター  
理事・技監 兼 省エネ技術本部  
省エネ技術センター長

秋山 俊一 氏

### 企業における「徹底した省エネ」の推進

省エネとは「我慢」ではなく、無駄を「省く」こと、つまり「経営改善」に繋がります。専門家による省エネ診断から運用改善・機器導入の取組事例、支援制度をご紹介します。  
紹介事例～ ホテル(北海道)、工場(北海道)、事業所(東京都)

セミナーの詳細、視聴はこちらから  
<http://hokkaidokankyo.biz>





## 基調講演 講師

東京工業大学特命教授  
先進エネルギー国際研究センター長

### 柏木 孝夫 氏

1946年東京生まれ。70年、東京工業大学工学部生産機械工学科卒。79年、博士号取得。1980～81年、米商務省NBS招聘研究員、東京工業大学工学部助教授、東京農工大学大学院教授を経て、2007年より東京工業大学大学院教授、2009年より先進エネルギー国際研究センター長、12年より特命教授・名誉教授。2018年より、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期エネルギー・環境分野プログラムディレクターに就任。現在、経済産業省総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員など数多くの委員を務め、長年、国のエネルギー政策づくりに深く関わる2017年、エネルギー・環境分野で最も権威のある国際賞「The Georg Alefeld Memorial Award」をアジアで初受賞。おもな著書に「超スマートエネルギー社会50」、「コージェネ革命」など。

## 分科会 A 講師

新エネルギー新聞(株式会社新農林社)  
取締役事業部長兼管理部長

### 井上 英文 氏

1975年チーゼル機器(後にポッシュ)入社、2013年ポッシュ株式会社を退社、同年株式会社新農林社入社現在に至る。ポッシュでは、ブレーキ関連の企画開発室長を経て、2000年よりコーポレートリサーチ担当SM、分野は、ITS、Robotics、Energy、通信分野、制御分野、品質工学、信頼性工学、安全工学、TPS、ISO、マーケティングなど長期にわたり企画開発分野を担当。新農林社では取締役事業部長兼管理部長、2014年より新エネルギー新聞を発行。

## 分科会 B 講師

一般財団法人 省エネルギーセンター理事・技監 兼  
省エネ技術本部 省エネ技術センター長

### 秋山 俊一 氏

約30年にわたり、鉄鋼会社において、製鉄所の省エネ対策、省エネ技術の改善・開発、エネルギーの最適運用に関する業務に従事、その間「国プロ:高性能工業炉の開発」にも参加。2014年から一般財団法人省エネルギーセンターにて、中小企業を対象とした省エネ診断事業の診断技術の総括を担当。2018年7月から現職。

## 環境・エネルギー 産業開発・販路拡大サポート相談会

道では、環境・エネルギー関連産業に参入され、道内外への進出や販路拡大を検討されている企業や今後、新規参入を検討されている企業を対象に専門家からのアドバイスにより課題解決につなげていただく「開発・販路拡大サポート相談会(個別相談会)」を開催します。

### 1. 開催時期・方法

- (1) 開催日時／令和4年(2022年)2月～3月  
(希望を伺い設定)
- (2) 開催方法／インターネット配信システム  
(例:ZOOM、Teams)を活用し、  
アドバイザーとオンライン形式  
(Web対面)による相談を実施します。

※原則、オンライン形式としますが、配信システムを活用出来ない場合、別途会場を用意させていただきます。

### 2. 内容

- (1) 相談料／無料(初回)  
※継続(2回目以降)のご相談をご希望され、アドバイザーへの謝金(相談料)が発生する際、ご相談者にご負担していただきます。  
※パソコン、インターネット配信システム(例:ZOOM、Teams)、通信料は相談者のご負担となります。
- (2) 相談時間／1企業あたり60分を目安とします。  
(1回のみ)

### (3) 相談例／

- ①製品の開発、販売、デザインにあたり技術的な助言が欲しい。
- ②新製品の技術開発に向けて連携が可能な企業、共同研究が可能な大学、試験研究機関等を探している。
- ③開発した製品やサービスを道内外へ販路拡大をさせたいが、代理店や効果的な販売方法、手続きがわからない。
- ④開発した製品の品質確保のため、公的研究機関などに製品の公定(品質)検査の認証に向けた手続きを相談したいが、どこに問い合わせしてよいかわからない。
- ⑤製品・サービスの開発や販路拡大を図るための資金調達として、金融機関からの融資やクラウドファンディングの活用を検討したいが、どのような手法があるか知りたい。

相談内容に応じて、道内外の商社、コンサルティング・マーケティング業者、中小企業診断士、金融機関、(地独)北海道立総合研究機構など幅広い専門家から最適なアドバイザーを選定・調整します。

### (4) 相談件数／5件(最大)

※サポート相談会へのご参加をご検討される企業はお気軽にお問い合わせ下さい。

### 3. 留意事項

- ・相談件数が定数を超えた場合や相談希望に合致したアドバイザーが見つからない場合、お断りさせていただく場合がございます。
- ・基本、道の担当者は同席しませんが、相談会の運営を道から受託している(株)インサイトがWebシステム上で同席※させていただきます。
- ※(株)インサイトの同席に支障がある場合、その旨お申し付けください。
- ・相談会終了後、相談者に対し、簡単なアンケート調査にご協力をいただきます。(企業秘密となる事項は聴取しません。)
- ・本相談会は、企業と企業・団体等とつながりを作るきっかけの場を提供することを目的としております。このため、相談会終了後、アドバイザーからの詳しい相談をご希望される場合、アドバイザーと直接、交渉・相談をしていただきますことをご承知置きます。